

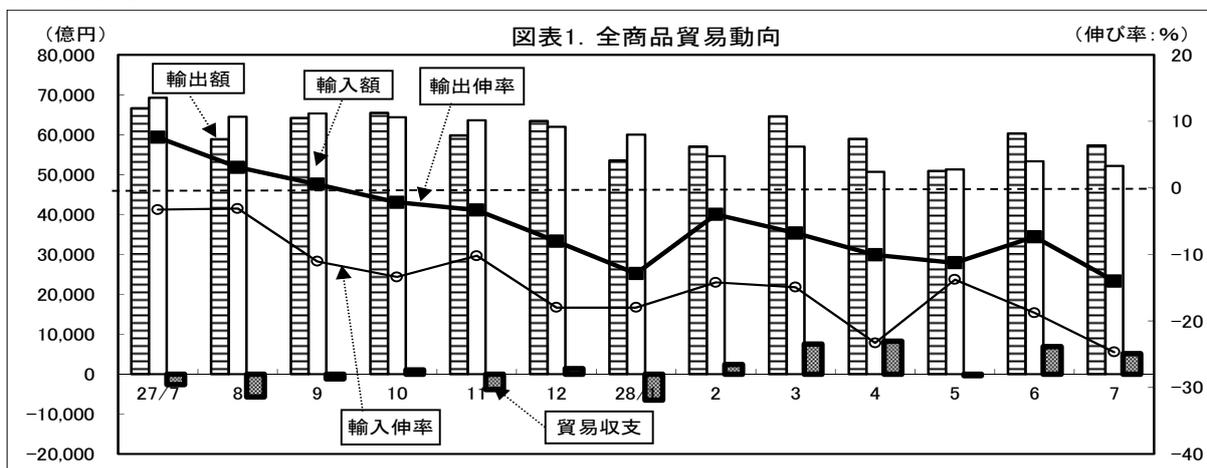
「最近の機械貿易動向(7月)～機械輸出伸び率10ヶ月連続マイナス～」

日本機械輸出組合 2016.9.15.

平成28年7月の機械輸出額は3兆7,642億円、対前年同月比13.7%減と、10ヶ月連続でマイナスとなった。これは、①6地域向けすべてで伸び率がマイナスとなったこと、②自動車、産業機械、電子デバイス等主要な21輸出業種がすべてマイナスとなったことなどによる。為替・営業日要因が17.6%の減少寄与要因だったことを考慮すると、実質的な伸び率は4.7%増と2ヶ月連続でプラスとなった。平成28年8月の為替・営業日要因は5.4%の減少寄与要因となっているが、9月8日発表の貿易統計速報によれば8月上中旬の全商品輸出は4.1%減であった。

1. 全商品貿易動向～輸出は10ヶ月連続、輸入は19ヶ月連続でマイナス～

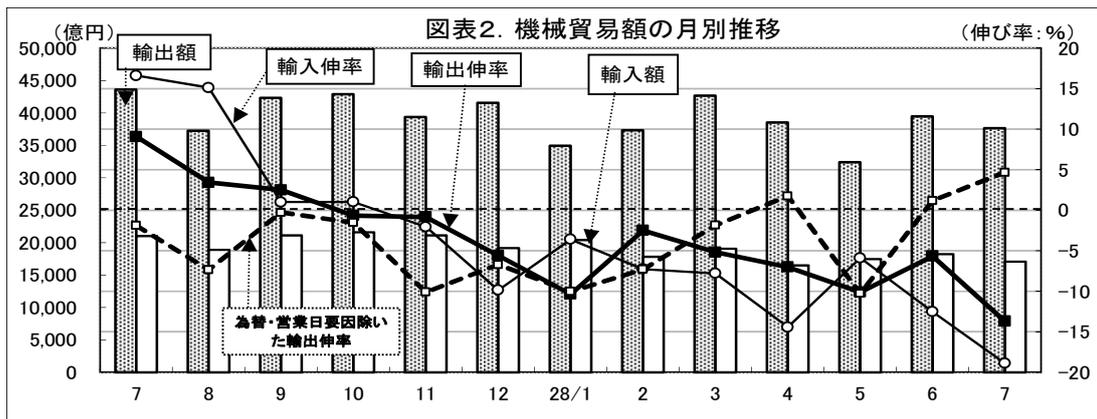
- 平成28年7月の全商品輸出額は**5兆7,292億円**、前年同月比(以下同じ)**14.0%減**と10ヶ月連続でマイナスとなった(6月7.4%減)。これは、全輸出額の約12%を占める鉄鋼・非鉄金属等原料別製品(19.3%減)、25%の輸送用機器(15.4%減)、18%の電気機器(13.4%減)等が大きくマイナスとなったためである。
- 輸入額は**5兆2,155億円**、**24.7%減**と19ヶ月連続でマイナスとなった(6月18.8%減)。これは、全輸入額の約19%を占める原粗油等鉱物性燃料(41.9%減)が原油価格下落等で大幅に減少したことに加え、15%を占める電気機器(22.9%減)、一般機械(21.3%減)、医薬品等化学製品(21.1%減)等が大きく減少したことによる。
- この結果、輸出額から輸入額を差し引いた貿易収支は、5,136億円の黒字となった。(6月は6,391億円の黒字)。



2. 機械貿易動向

(1) 機械輸出入動向～輸出は10ヶ月連続でマイナス～

- 全商品輸出額の約66%を占める7月の機械輸出額は**3兆7,642億円**、**13.7%減**と10ヶ月連続でマイナスとなり(6月5.7%減)、その水準は、リーマンショック前(2008年7月)と比べると**74.8%**となって、前月に比べて7.7ポイント悪化した(6月82.5%)。なお、為替・営業日要因を除いた**実質的な伸び率は4.7%増**であった。
- 一方、全商品輸入額の約33%を占める機械輸入額は、**1兆7,052億円**、**18.9%減**と9か月連続でマイナスとなった(6月12.5%減)。ただし、リーマンショック前(2008年7月)の水準に比べ、3.1%増となっている。

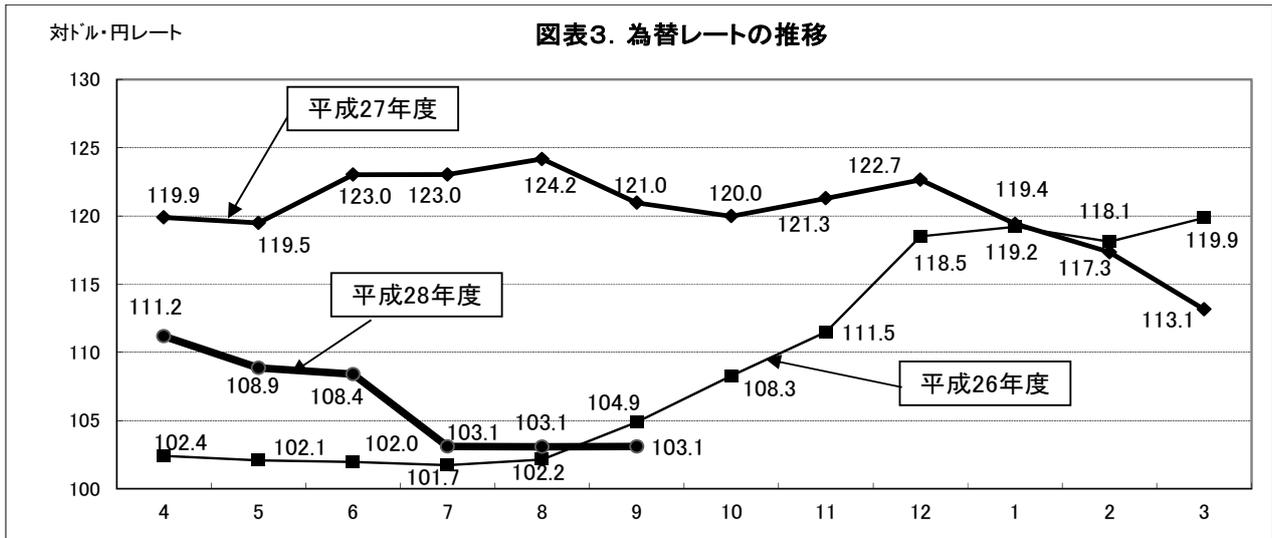


(2) 為替・営業日動向～7月は17.6%の減少要因、8月は約5.4%の減少要因～

1) 7月は1ドル=103.1円となり、前年に比べ16.2%の円高となった。また、対ユーロは114.6円と前年に対して16.5%の円高となり、合わせて約9.3%の為替減少要因となった。営業日は前年より2日少ないため、9.1%の減少要因となり、合計で約17.6%の減少要因となる。7月の輸出額は13.7%減であったことから、実質的伸び率は4.7%増と2ヶ月連続でプラスとなった(6月1.2%増)。

2) 8月は1ドル=103.1円で前年比17.0%の円高、対ユーロでは114.6円で前年比16.0%の円高となり、合わせて約9.7%の為替減少要因となった。営業日は前年より1日多いため、4.8%の増加要因となり、合計で約5.4%の減少要因となる。

3) 9月は、対ドルが9月14日17:00時点の103.1円とすれば、前年に比べて14.8%の円高、また、対ユーロは115.7円で15.1%の円高となり、合わせると約8.1%の為替減少要因となる。営業日は前年より1日多いため、5.3%の増加要因となり、合計で約3.2%の減少要因となる。



(3) 地域別動向～6地域向けすべてで伸び率がマイナス～

1) 機械輸出額の地域的動きをみると、①全体の26.2%を占める最大輸出先の北米向けでは、全体の54%を占める自動車(8.8%減)をはじめ、産業機械(10.3%減)や航空機部品(27.3%減)等が減少して12.4%減となった。②21.1%を占める中国向けでは、自動車(10.7%減)、光学機械(29.3%減)、民生用電子機械(25.0%減)が大きくマイナスとなって13.2%減となり、③15.1%のASEAN・南アジア向けは、タイ(18.0%減)、マレーシア(15.8%減)、インドネシア(10.6%減)等が二桁のマイナスとなり、業種では、全体の26%を占める自動車(12.3%減)をはじめ、22%の産業機械(6.9%減)、電子デバイス(20.4%減)等がマイナスとなって10.3%減となった。④12.2%を占めるEU向けは、37%を占める自動車(4.9%減)をはじめ、産業機械(15.2%減)、白物家電等軽電気機械(11.3%減)等がマイナスとなって、10.1%減となり、⑤10.3%を占める韓国・台湾向けは産業機械(0.6%増)がほぼ横這いだったものの、電子デバイス(6.3%減)、重電気機械(15.9%減)、軽電気機械(19.4%減)がマイナスとなって8.2%減となった。⑥15.1%のその他地域向けでは、ロシア東欧等(18.7%増)がプラスとなったものの、中南米(35.2%減)、中近東(32.3%減)向け等が大きくマイナスとなり、機種では、64%を占める自動車(16.6%減)、船舶(68.2%減)等がマイナスとなって26.6%減となった。

2) また、リーマンショック前の2008年7月の地域別輸出額と比較すると、90%を超えた地域はなく、ASEAN・南アジア、北米、韓国・台湾・中国向けが80%台、EU、その他地域向けが50%台となった。

図表4. 最近の地域別機械輸出動向

(単位: 億円)

	2016/5			2016/6			2016/7			対08年7月比
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	
全世界計	32,391	▲ 10.1	100.0	39,461	▲ 5.7	100.0	37,462	▲ 14.1	100.0	0.74
北米	8,123	▲ 9.2	25.1	10,180	▲ 5.9	25.8	9,831	▲ 12.4	26.2	0.88
中国	6,649	▲ 16.4	20.5	7,826	▲ 11.6	19.8	7,907	▲ 13.2	21.1	0.85
ASEAN・南アジア	4,924	▲ 10.8	15.2	5,903	▲ 5.6	15.0	5,664	▲ 10.3	15.1	0.89
EU	3,922	▲ 3.3	12.1	4,581	▲ 1.6	11.6	4,573	▲ 10.1	12.2	0.59
韓国・台湾	3,538	▲ 6.1	10.9	3,837	▲ 10.6	9.7	3,847	▲ 8.2	10.3	0.85
その他	5,235	▲ 9.7	16.2	7,134	2.6	18.1	5,641	▲ 26.6	15.1	0.50

は、2ヶ月連続で前年比10%以上プラス。

図表5. 韓国・台湾/ASEAN・南アジア/その他地域向け機械輸出の推移(月別)

(金額単位:億円、%)

国名	2016/4		2016/5		2016/6		2016/7	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
韓国	1,798	▲ 11.0	1,620	▲ 9.8	1,773	▲ 14.2	1,919	▲ 4.2
台湾	1,711	▲ 7.9	1,917	▲ 2.8	2,063	▲ 7.1	1,929	▲ 11.9
ASEAN・南アジア								
タイ	1,535	▲ 1.8	1,208	▲ 14.1	1,492	▲ 7.1	1,455	▲ 18.0
シンガポール	925	▲ 9.6	868	▲ 1.8	1,072	▲ 0.1	870	▲ 1.8
インドネシア	562	▲ 27.5	582	▲ 7.6	513	▲ 18.9	627	▲ 10.6
マレーシア	681	▲ 10.8	546	▲ 13.1	627	▲ 14.4	654	▲ 15.8
フィリピン	633	1.1	567	▲ 8.6	650	▲ 1.3	652	5.1
ベトナム	624	▲ 26.3	513	▲ 16.9	733	9.4	629	▲ 6.8
インド	382	▲ 13.7	317	▲ 10.0	451	11.1	418	▲ 0.5
パキスタン	145	9.1	118	6.6	137	8.8	124	▲ 9.4
その他地域								
中南米	2,202	▲ 10.6	1,638	▲ 14.8	2,467	20.5	1,548	▲ 35.2
中近東	1,675	▲ 21.7	1,450	▲ 5.4	1,792	▲ 18.1	1,471	▲ 32.3
大洋州	1,205	6.4	937	▲ 13.4	1,264	▲ 1.4	1,298	▲ 21.1
ロシア東欧等	792	▲ 24.8	730	4.9	1,070	36.8	1,003	18.7
アフリカ	554	▲ 15.5	455	▲ 17.4	469	▲ 29.8	521	▲ 20.0

は、2ヶ月連続で前年同月比プラス(10%以上)

(4)業種別動向～21業種すべてがマイナス。うち二桁減が19業種～

- 1)業種別では、全21業種中プラスとなったものはなかった。全体の約37%を占める自動車(11.2%減)、18%の産業機械(5.8%減)、8%の電子デバイス(11.5%減)等21の主要業種すべてがマイナスとなり、二桁減の業種も19業種にのぼった。この結果、機械全体で13.7%減となった。
- 2)リーマンショック前の水準を超えたのは航空機部品、鉄道車両、軽機械の3業種のみで前月より2業種減少し、他方、産業車両、電子計算機、民生用電子機械が40%台の低い水準にある。

図表6 上位21業種の輸出額の動き

(単位:億円、%)

業種名	2016/5			業種名	2016/6			業種名	2016/7			対08/7 比
	金額	伸び率	シェア		金額	伸び率	シェア		金額	伸び率	シェア	
自動車	11,006	▲ 3.1	34.0	自動車	14,108	▲ 5.9	35.8	自動車	13,820	▲ 11.2	36.7	0.78
産業機械	6,129	▲ 6.2	18.9	産業機械	6,843	▲ 4.0	17.3	産業機械	6,885	▲ 5.8	18.3	0.85
電子デバイス	2,528	▲ 20.0	7.8	電子デバイス	2,931	▲ 11.4	7.4	電子デバイス	3,010	▲ 11.5	8.0	0.68
軽電気機械	1,614	▲ 17.4	5.0	軽電気機械	1,954	▲ 6.2	5.0	軽電気機械	1,998	▲ 11.5	5.3	0.77
重電気機械	1,543	▲ 14.7	4.8	重電気機械	1,860	▲ 7.0	4.7	重電気機械	1,842	▲ 12.3	4.9	0.78
軽機械	1,367	▲ 6.5	4.2	軽機械	1,676	1.3	4.2	軽機械	1,546	▲ 10.8	4.1	1.12
船舶	1,215	▲ 10.8	3.8	船舶	1,530	18.0	3.9	民生用電子機械	1,371	▲ 22.2	3.6	0.43
民生用電子機械	1,178	▲ 19.6	3.6	民生用電子機械	1,352	▲ 14.6	3.4	光学機械	1,044	▲ 23.9	2.8	0.77
光学機械	960	▲ 26.1	3.0	光学機械	1,071	▲ 21.2	2.7	船舶	952	▲ 45.8	2.5	0.54
建設機械	848	▲ 1.8	2.6	建設機械	1,051	▲ 1.8	2.7	建設機械	840	▲ 11.0	2.2	0.53
航空機部品	723	▲ 4.5	2.2	航空機部品	1,011	16.5	2.6	工作機械	702	▲ 27.1	1.9	0.77
工作機械	573	▲ 29.9	1.8	工作機械	693	▲ 29.9	1.8	航空機部品	667	▲ 21.7	1.8	1.78
通信機械	447	▲ 22.5	1.4	通信機械	561	▲ 5.4	1.4	通信機械	442	▲ 24.4	1.2	0.52
医療機械	345	▲ 11.1	1.1	医療機械	417	▲ 7.1	1.1	電子計算機	406	▲ 12.4	1.1	0.42
電子計算機	341	▲ 17.7	1.1	電子計算機	412	▲ 10.7	1.0	医療機械	401	▲ 10.4	1.1	0.96
ベアリング	317	▲ 19.7	1.0	ベアリング	377	▲ 12.6	1.0	ベアリング	372	▲ 17.1	1.0	0.95
陸用内燃機関	289	▲ 17.2	0.9	陸用内燃機関	337	▲ 0.8	0.9	陸用内燃機関	331	▲ 15.8	0.9	0.76
繊維機械	160	▲ 10.9	0.5	農業機械	199	18.5	0.5	繊維機械	177	▲ 6.0	0.5	0.99
農業機械	156	▲ 8.1	0.5	繊維機械	175	▲ 0.9	0.4	農業機械	143	▲ 29.0	0.4	0.69
産業車両	87	▲ 18.7	0.3	産業車両	121	▲ 7.2	0.3	産業車両	106	▲ 19.1	0.3	0.40
鉄道車両	72	84.5	0.2	鉄道車両	111	▲ 1.1	0.3	鉄道車両	92	▲ 19.2	0.2	1.15
21業種合計	31,825		98.3	21業種合計	38,789		98.3	21業種合計	37,146		98.7	0.75

は2ヶ月以上連続で10%以上増加。・産業機械:半導体製造装置、印刷・製本機械、風水力機械、タービン

- ・民生用電子機械:デジカメ、TV、部品
- ・電子計算機:パソコン、HDD、プリンター等部品
- ・軽機械:試験・検査機、理化学用機器
- ・軽電気機械:白物家電、電子計測器、配電機器、電池
- ・光学機械:その他の光学機器(半導体検査装置、レーザー等)、カメラ部品
- ・通信機械:通信機械部分品、受信変換・その他送受信

(5)機種別動向～韓国・台湾向け半導体製造装置が大幅増、船舶、デジカメ・ビデオ等が大幅減～

- 1)10%以上の伸び率を示した機種は1機種(前月より4機種減)で、①特に韓国向けが大きく伸びた半導体製造装置(25.3%増)であった。
- 2)一方、船舶(45.8%減)をはじめ、マイナス伸び率上位10機種すべてが20%以上の大幅な減少であった。

図表7. 伸び率上位機種(月50億円以上、前年比伸び率10%以上、10機種以内) (単位:億円、%)

2016/5			2016/6			2016/7		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
鉄道車輛	72	84.5	農業機械	199	18.5	半導体製造装置	1,743	25.3
半導体製造装置	1,511	26.9	船舶	1,530	18.0	機種合計	1,743	* 4.6%
機種合計	1,583	*4.9%	産業用ロボット	157	17.2			
			航空機部品	1,011	16.5			
			半導体製造装置	1,621	12.6			
			機種合計	4,518	* 11.5%			

は、2ヶ月連続で上位機種 * 機種合計の%は輸出額に占める割合

通信機械部分品:ゲートウェイ、ルーター等 受信変換・その他送受信:ルーター、LANスイッチ等ネットワーク関連機器

理化学用機器:物理・化学分析用機器の部品、電気式分析機器等 電動機:業務用モーター

その他の光学機器:レーザー、半導体検査装置等 その他の重電機器・部分品:重電機器部分品、交通管制用機器

図表8. マイナス伸び率上位機種(月10億円以上、10%減以上、10機種以内) (単位:億円、%)

2016/5			2016/6			2016/7		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
通信機械部分品	194	▲ 32.7	工作機械	693	▲ 29.9	船舶	952	▲ 45.8
工作機械	573	▲ 29.9	その他の光学機器	884	▲ 23.2	デジカメ・ビデオ	300	▲ 35.4
写真機の部分品・附属品	113	▲ 28.2	デジカメ・ビデオ	335	▲ 22.1	通信機械部分品	168	▲ 33.2
その他の光学機器	790	▲ 26.3	金属加工機械	224	▲ 20.7	原動力機械	331	▲ 31.2
その他の重電機器・部分品	341	▲ 24.4	磁気カード・ディスク等	135	▲ 20.6	農業機械	143	▲ 29.0
印刷・製本機械	747	▲ 24.1	貨物自動車	794	▲ 19.9	受信変換その他送受信機器	119	▲ 27.6
電気・電子計測器	313	▲ 24.0	電動機	133	▲ 17.9	磁気カード・ディスク等	137	▲ 27.3
金属加工機械	209	▲ 24.0	写真機の部分品・附属品	121	▲ 15.4	工作機械	702	▲ 27.1
原動力機械	297	▲ 23.2	原動力機械	363	▲ 14.9	写真機の部分品・附属品	108	▲ 25.9
TV	81	▲ 22.4	ベアリング	377	▲ 12.6	その他の光学機器	865	▲ 24.8
機種合計	3,658	* 11.3%	機種合計	4,059	* 10.3%	機種合計	3,825	* 10.2%

は、2ヶ月連続でマイナス上位10位内 * 機種合計の%は輸出額に占める割合

(6)機械輸入動向～電子デバイス、電子計算機等が大きく減少～

- 1)7月の機械輸入伸び率は18.9%減と9ヶ月連続のマイナスとなった。電子デバイス(23.1%減)、電子計算機(23.5%減)をはじめ、上位12機種のうち11機種がマイナスとなった(6月は10機種がマイナス)。
- 2)なお、輸入額が輸出額を上回っている機種は電子計算機、航空機・部品等、携帯電話、白物家電、医療機械、受信変換・その他送受信、時計、通信機械部分品、TVの9機種となっている。
- 3)地域別機械輸入額は、全体の39%を占める中国(22.6%減)、北米(14.5%減)、ASEAN・南アジア(21.2%減)、EU(5.7%減)、韓国・台湾(22.8%減)、その他地域(16.8%減)の順であった。

図表9. 機械輸入額上位12機種

(単位:億円、%)

2016/5				2016/6				2016/7			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
電子デバイス	1,877	▲ 13.7	10.7	電子デバイス	2,056	▲ 18.1	11.3	電子デバイス	2,020	▲ 23.1	11.8
電子計算機	1,444	▲ 13.0	8.3	携帯電話	1,605	33.2	8.8	電子計算機	1,506	▲ 23.5	8.8
航空機・部品等	1,147	8.3	6.6	電子計算機	1,548	▲ 20.7	8.5	航空機・部品等	1,124	▲ 6.6	6.6
自動車部品	1,020	0.8	5.8	自動車部品	1,052	▲ 7.9	5.8	乗用車	1,013	20.6	5.9
携帯電話	971	▲ 21.8	5.6	航空機・部品等	967	▲ 27.7	5.3	自動車部品	994	▲ 16.0	5.8
乗用車	859	7.4	4.9	乗用車	907	4.9	5.0	携帯電話	937	▲ 22.8	5.5
白物家電	823	0.3	4.7	白物家電	812	▲ 16.1	4.5	白物家電	714	▲ 11.2	4.2
医療機械	612	13.4	3.5	医療機械	624	▲ 0.2	3.4	医療機械	581	▲ 10.2	3.4
配電機器	472	▲ 4.8	2.7	配電機器	497	▲ 14.6	2.7	配電機器	457	▲ 21.4	2.7
受信変換その他送受信	448	▲ 7.5	2.6	受信変換その他送受信	447	▲ 22.0	2.5	受信変換その他送受信	435	▲ 26.4	2.6
その他の配電制御装置	345	▲ 8.4	2.0	その他の配電制御装置	352	▲ 14.1	1.9	その他の配電制御装置	351	▲ 14.8	2.1
風水力機械	332	1.0	1.9	風水力機械	347	▲ 10.5	1.9	コンデンサー等部分品	311	▲ 21.4	1.8
12機種合計	10,350		59.2	12機種合計	11,214		61.5	12機種合計	10,443		61.2

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。・白物家電:民生用電気機械

・受信変換その他送受信:ネットワーク関連機器 ・その他の配電制御装置:スイッチ、配電盤、制御盤等